

政策調整会議次第

日時 令和8年5月26日（火）

午前9時

場所 別館3階 市長公室

1 開会

2 議題 （1）市庁舎長寿命化改修工事の入札不調について

市庁舎長寿命化改修工事の入札不調と今後の対応

入札経過（5/14、入札予定価格：1,619,200,000円）

- ・ 応札者なしで入札中止
- ・ 入札資格を有する建設業者へヒアリングを実施。現在、受注に伴うリスクとして考えられる大きなものとしては、イラン情勢に起因する、建築資材の納期の不透明さ、価格の高騰が挙げられるとのこと。

イラン情勢による建築資材の動向について

- ・ 主に石油由来（ナフサを原料とする）の資材において、価格高騰及び受注停止、納期延長が発生している。

具体的には、プラスチック系断熱材、防水材、塗料、接着剤、シーリング材、ビニル系床材、配管材（水道管など塩化ビニル製品）、住宅設備（ユニットバス）など。

価格の高騰としては、1.5～2倍の価格上昇が見られる。

- ・ 各種建材の状況について

（防水材）：【田島ルーフィング（メーカー）へのヒアリング】

アスファルト防水は受注停止中。ウレタン防水は受注再開したものの、現状、出荷は少量ずつにとどまっている。

今回の価格改定（1.5倍程度）は緊急措置。事態収束により価格は下げる見通し。

（塗装材）：【塗料メーカー発表】

1.2～1.5倍程度の価格上昇及び出荷制限の実施

（設備材料）：【施工業者へのヒアリング】

電気・機械資材のうち配管材などの石油製品は1.5～2倍の価格上昇。

過去にない異常な価格高騰であるため、原料が入るようになれば、価格は下がると思われる。

工事実施のリスク

- ・ 建築資材の納期延長に伴う工期延長。工期延長に伴う諸経費の負担
- ・ 工事費高騰（石油由来の建築資材の一時的な価格高騰の影響を受ける）

対応（案）

- ・ 市庁舎長寿命化改修工事の実施は一旦停止
- ・ 優先度の高い改修項目については、建築資材の供給状況等を考慮しながら、切り分けての実施を検討

※市庁舎以外の公共施設の大規模改修についても、今後の対応について確認が必要